

陸前高田市米崎町民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 6 月 21 日掲載)

東日本大震災により、陸前高田市米崎町でも多くの方々が犠牲になりました。住居や仕事の間を失った方々もたくさんおり、被災した方々は今なお仮設住宅等で苦しい生活を余儀なくされています。津波で浸水した地域は、瓦礫が片付けられ広大な更地になっただけで、復旧・復興はなかなか進まない状況です。

米崎町民児協は現在 10 名の委員で活動しています。震災により、委員 1 名が亡くなりました。また 3 名が住居などを失い、現在も仮設住宅で生活しながら委員活動を行なっています。

米崎町内の仮設住宅は米崎小学校仮設住宅、高田東中学校仮設住宅など 8 か所あります。町内の仮設住宅で暮らしている方々の人数は 887 名です（平成 24 年 11 月の市の調査）。

現在、毎週木曜日の午前中、米崎コミュニティセンターを会場に、米崎町民児協の委員と陸前高田市社協の生活支援相談員、市の保健師、各種ボランティアの方々と連携し、仮設住宅で暮らしている方々との「生き生きお茶サロン」の活動を行なっています。「生き生きお茶サロン」は、佐野、西風道、休養村仮設でも行なわれており、米崎町民児協の委員がお手伝いをしています。

仮設住宅等で暮らしている方々からは、以下のような話を伺います。

- ・ 震災前に住んでいた町内会の方々と一緒に高台への集団移転を希望していたが、その計画はあってもなかなか進まない。
- ・ 今後の生活を考えると不安でいっぱい。
- ・ なかなか希望を持たず、体調も良くない。
- ・ 仕事を求めているが、働く場がない。 など

米崎町民児協では、本年度、次の 3 点を重点目標として活動を進めることにしています。

- (1) 東日本大震災からの復興に向け、要援護者や住民の安心安全を守る生活の相談、支援活動の強化
- (2) 社会福祉協議会の事業への協力と子育て支援活動の強化
- (3) 自己研修と各種研修会への参加

今後も引き続き、東日本大震災の被災等で困っている方々の生活向上に向けて取り組みを続けてまいります。

【「生き生きお茶サロン」の様子】



参加者でニギニギ体操を行っています。



体操の後、4つのテーブルを囲んでお話し会です。